

PTK2018-002

2018年3月吉日

日本企業 代表者各位  
産学民・会員各位

(一社) PTKタイ国際交流経済機構  
代表理事 田中 慶司  
(押印省略)

## SDGs 達成し持続可能な未来構築について(1)

### 記

標記の件、気候変動や水質源枯渇など環境問題、貧困や飢餓問題、ジェンダー（性）に基づく偏見や不平等の問題など、今なお世界は様々な課題を抱える。

#### 1. 目的

国連が2030年までの達成を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」では、民間企業と一体となって貧困撲滅や気候変動対策、女性の社会活動推進といった社会課題を解決することを目指している。従来の企業の社会的責任（CSR）と大きく違うのは、企業が稼ぎながら社会に貢献するものです。

#### 2. 概要

SDGsの採択から、およそ2年半が経過し、企業の取り組みも、議論から行動の段階へと移りつつある。企業にとって大切なのは社会的責任（CSR）活動と捉えるのではなく、本業であり、ビジネスであるという認識である。

#### 3. 事業戦略の推進

SDGsに積極的に取り組む企業の多くは、事業戦略にこれを組み込んでいる。

17の目標や169のターゲットと、自社の事業との関係を見直し、そこからサービスや商品を組み立てている。昨年1月の世界経済フォーラムの年次総会（ダボス会議）では、SDGsの達成で、30年まで12兆<sup>ドル</sup>の新たな市場が生まれるとの予測がなされた。

SDGsは大きなビジネスチャンスなのです。

一方、株式市場で活発化するのがESG投資です。

これはE（環境）S（社会）G（企業統治）の3つに配慮する企業に投資するスタイルを指す。これにも国連は投資家がとるべき行動として「責任投資原則（PRI）」を公表。

ESGの重視を呼びかけた。以降、ESGが企業の投資価値を測る1つの評価ポイントとなっています。

続く(2)へ

仮称：日本地方創生振興機構 東京事務局（設立準備中）

※ご意見、ご要望等は✉ [info@ptk-thai.or.jp](mailto:info@ptk-thai.or.jp)